

区民委員会報告資料

令和5年1月17日

報告事項件名	頁
1 令和4年度公衆喫煙所整備内容の変更について・・・・・・・・・・	2
2 子育てサロン千住大橋の事業運営業務委託に関する公募型プロポーザルの再実施について・・・・・・・・・・	4
3 「第8次男女共同参画行動計画 骨子案」について・・・・・・・・・・	5
4 指定管理者（区内企業）の事業者ヒアリングについて・・・・・・・・	13
5 文化遺産調査マンガ本「ビビビ美アダチ」発刊時期の変更について・・・・・・・・	15
6 区制90周年特別展「琳派の花園 あだち」の開催結果について・・・・・・・・	16
7 小学生向け電子図書館体験キャンペーンの実施について・・・・・・・・	18
8 足立区孤立ゼロプロジェクト推進活動の実施状況について・・・・・・・・	20
9 足立区における高齢者の孤立死の現状について・・・・・・・・・・	22

(地域のちから推進部)

令和5年1月17日

件 名	令和4年度公衆喫煙所整備内容の変更について															
所管部課名	地域のちから推進部地域調整課															
内 容	<p>令和4年度に整備を予定していた喫煙所について、喫煙所の種類、整備期間等を変更することとしたので次のとおり報告する。</p> <p>1 見沼代親水公園駅</p> <p>(1) 変更内容</p> <table border="1" data-bbox="416 707 1426 1111"> <thead> <tr> <th></th> <th>当初予定</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>喫煙所の種類</td> <td>パーテーション型</td> <td>コンテナ型</td> </tr> <tr> <td>整備箇所</td> <td>見沼代親水公園駅 交通広場内</td> <td>見沼代親水公園駅 交通広場内を中心に 再検討中</td> </tr> <tr> <td>整備時期 (工事着手)</td> <td>令和4年10月</td> <td>令和5年秋ごろ着工 (予定)</td> </tr> <tr> <td>利用開始時期</td> <td>令和5年 1月</td> <td>令和6年春ごろ (予定)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 案内図</p>  <p>The site map shows the station area with a red circle highlighting the '整備予定箇所' (planned maintenance location) near the station building. A label '見沼代親水公園駅' is placed above the station area, and a label '整備予定箇所' is placed below with a red arrow pointing to the circled area. A large number '4' is visible in the top left corner of the map.</p>		当初予定	変更後	喫煙所の種類	パーテーション型	コンテナ型	整備箇所	見沼代親水公園駅 交通広場内	見沼代親水公園駅 交通広場内を中心に 再検討中	整備時期 (工事着手)	令和4年10月	令和5年秋ごろ着工 (予定)	利用開始時期	令和5年 1月	令和6年春ごろ (予定)
	当初予定	変更後														
喫煙所の種類	パーテーション型	コンテナ型														
整備箇所	見沼代親水公園駅 交通広場内	見沼代親水公園駅 交通広場内を中心に 再検討中														
整備時期 (工事着手)	令和4年10月	令和5年秋ごろ着工 (予定)														
利用開始時期	令和5年 1月	令和6年春ごろ (予定)														

2 江北駅

(1) 変更内容

	当初予定	変更後
喫煙所の種類	パーテーション型	コンテナ型
整備箇所	江北駅交通広場内	江北駅交通広場内 (変更なし)
整備時期 (工事着手)	令和4年10月	令和5年秋ごろ着工 (予定)
利用開始時期	令和5年 1月	令和6年春ごろ (予定)

(2) 案内図



問題点 今後の方針

- 1 「パーテーション型喫煙所」の整備費については、令和5年3月補正において減額補正を計上するとともに、「コンテナ型喫煙所」の整備費については、令和5年度当初予算において計上する予定。
- 2 今後も、喫煙者の状況、区民の声等の地域のニーズを検証した上で候補地を定め、調整を進めていく。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和5年1月17日

件 名	子育てサロン千住大橋の事業運営業務委託に関する公募型プロポーザルの再実施について
所管部課名	地域のちから推進部住区推進課
内 容	<p>令和5年4月からの事業運営に向けて、千住大橋、上沼田など4か所の子育てサロンについて10月11日から公募型プロポーザルにて募集を開始した。</p> <p>そのうち、「子育てサロン千住大橋」に参加表明を提出していた事業者から辞退届の提出があった。</p> <p>そのため「子育てサロン千住大橋」について、公募型プロポーザルの再募集を実施したので、次のとおり報告する。</p> <p>なお、上沼田、関原、東保木間については、当初の予定通り事業者選定を進める。</p> <p>1 再募集対象の子育てサロン 名称 子育てサロン千住大橋 所在地 千住橋戸町1-13 ポンテポルタ千住3階305区画</p> <p>2 これまでの経過 令和4年10月11日 4か所の子育てサロンの募集開始 令和4年11月22日 選定委員会開催（書類審査） 令和4年12月 1日 子育てサロン千住大橋に参加表明を提出していた事業者から辞退届を受理（辞退理由：職員の退職にあたり、新年度の人材確保が困難なため）</p> <p>※ 子育てサロン千住大橋への参加表明は1者のみであった。</p> <p>3 再実施のスケジュール（予定） 令和4年12月20日 再募集（プロポーザル説明書の配付） 令和5年 1月31日 選定委員会（書類審査） 令和5年 2月20日 選定委員会（プレゼンテーションによる事業者選定） 令和5年 4月 1日 事業運営業務委託開始</p>
問 題 点 今後の方針	再募集に向けて改めて区ホームページ等で周知し、令和5年4月1日から事業を実施できるように、スケジュール管理を行っていく。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和5年1月17日

件 名	「第8次男女共同参画行動計画 骨子案」について		
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課		
内 容	<p>現在策定中の「第8次足立区男女共同参画行動計画」骨子案を次のとおり報告する。</p>		
	<p>1 基本的な考え方 第7次行動計画を国や都の計画のほか、SDGs等、法改正や社会状況に合わせて新たな視点を加え見直していく。</p>		
	<p>2 骨子案内容（詳細は別紙1） (1) 第7次計画の柱立てごとに、令和3年度実施の意識調査から見えてきた課題をまとめ、今後必要となる施策や指標を見直していく。 (2) 第7次計画は4つの柱で構成されていたが、第8次計画では区の課題に取り組むための姿勢として、5つ目の柱「男女共同参画に関する推進体制の整備・強化」を加えた。</p>		
	<p>【柱立て（案）】</p>		
		第7次（現行）計画	第8次（新）計画
	I	あらゆる分野における女性の活躍推進～ワーク・ライフ・バランス推進～	あらゆる人の人権と性の多様性の尊重
II	各人の個性や多様な生き方を尊重し、相互理解が進む社会の醸成	様々な分野における女性の参画拡大と活躍推進 (※ 足立区女性活躍推進計画を兼ねる。)	
III	DV等の暴力の根絶と支援体制の充実	安全・安心な暮らしの実現（DV・虐待の予防と被害者支援） (※ 足立区配偶者暴力対策基本計画を兼ねる。)	
IV	生活に困難さを抱える家庭の子どもと保護者への支援～特にひとり親家庭への支援～	男女共同参画の視点における困難を抱える女性等への支援	
V	—	男女共同参画に関する推進体制の整備・強化 【新規】	

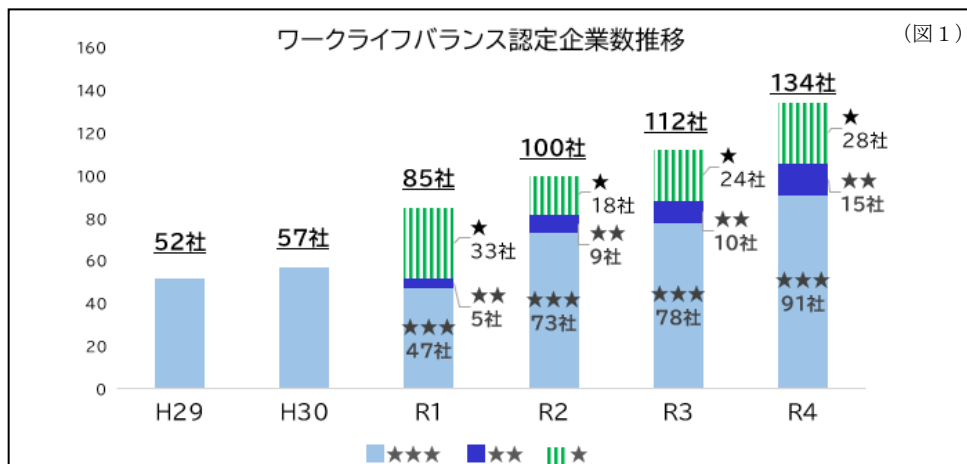
3 第7次行動計画のふり返り

【目標Ⅰ】あらゆる分野における女性の活躍推進

～ワーク・ライフ・バランス推進～

(1) ワーク・ライフ・バランス推進認定企業の増加

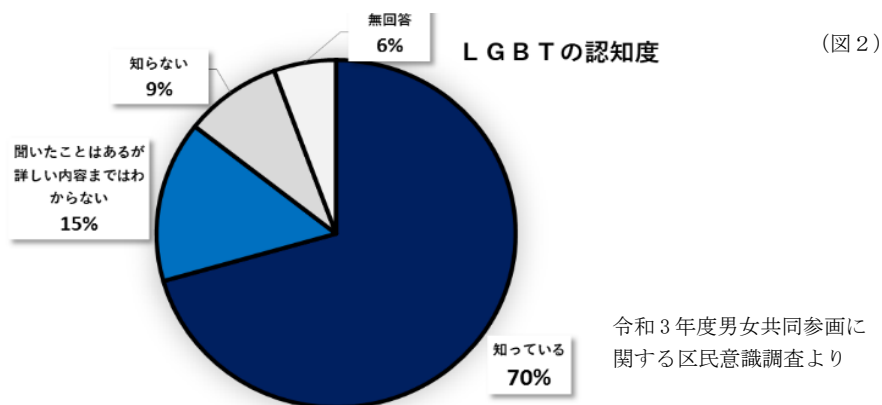
中小零細企業が多い足立区の実状をふまえ、気軽に取り組めるよう令和元年度からは1分野からの申請や、内容に応じたレベル別（星1つ～3つ）認定制度に見直し、認定数が増加した（図1）。



【目標Ⅱ】各人の個性や多様な生き方を尊重し、相互理解が進む社会の醸成

(1) 多様性を尊重する社会に向けた素地の醸成

「LGBT」という言葉の認知度は「聞いたことがある」まで加えると85.6%（図2）であり、啓発を推進していくための素地が一定程度、醸成されてきたことがうかがえる。



【目標Ⅲ】DV等の暴力の根絶と支援体制の充実

(1) 相談窓口につなげる工夫

ア 女性相談の予約方法変更

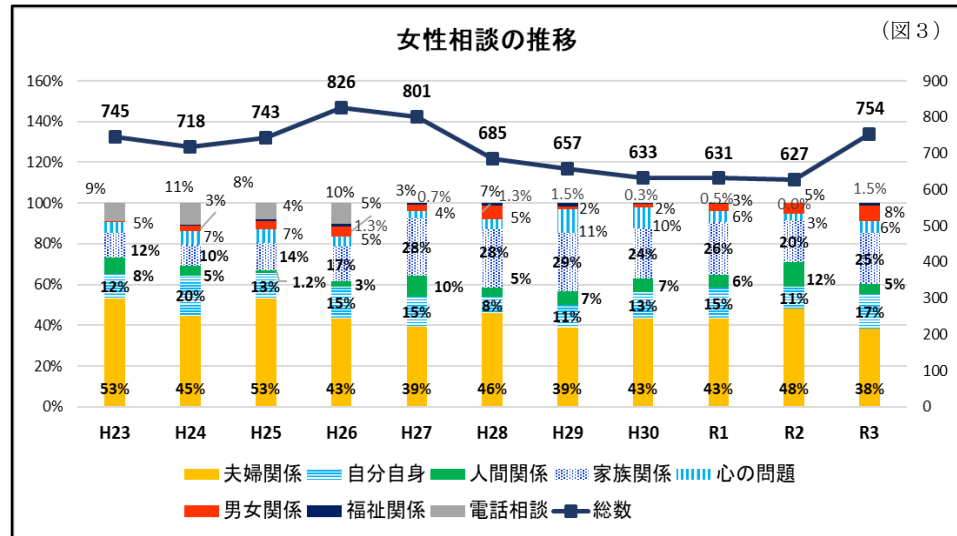
以前は相談員が予約を受けており、相談中は電話に出ることが難しく、区民から「予約が取りにくい」という声があったため、令和3年6月より事務室で予約を受け付ける方法に変更した。

イ 20～30代の女性向け相談窓口一覧の作成

相談の少ない20～30代の女性向けに、令和3年度区や都等の相談窓口の一覧を作成し、SNS等でも周知を行っている。

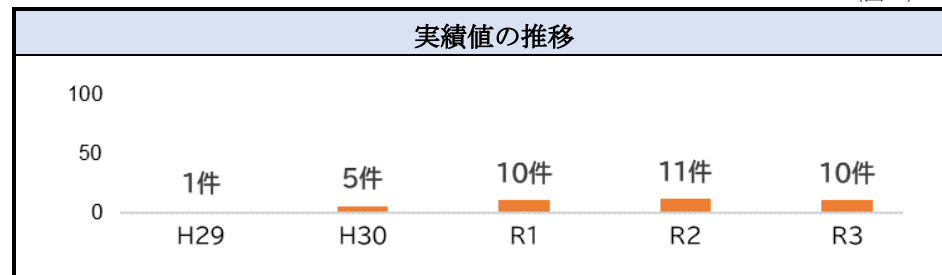
ウ 相談件数の増加（図3）

平成28年度から横ばい傾向であったが、令和2年度から令和3年度にかけて1.2倍と増加した。新型コロナウイルスの影響か相談方法の変更等によるものかの判断が難しいため、今後の動向を見ていく。



エ 男性DV電話相談（図4）

加害者からの相談もあり、DV予防としても継続が必要と考えられる。平成29年7月から開始した。



(2) 配偶者暴力相談支援センターの設置

令和4年度中に、DV被害者の相談機関として「配偶者暴力相談支援センター」を設置する。これにより、被害者が証明書の発行のため、警察署や区外の都施設へ足を運ぶ必要がなくなり、物理的・心的負担軽減につながる。

【目標Ⅳ】生活に困難を抱える家庭の子どもと保護者への支援 ～特にひとり親家庭への支援～

- (1) 子どもの貧困対策の視点を盛り込んだ男女共同参画の取り組み
第7次計画の特徴の1つとして「生活に困難を抱える家庭の子どもと保護者への支援」を柱の1つとしたことが挙げられる。

(2) 「困難を抱える女性への支援に関する法律」の反映

第7次計画に盛り込んだ困難を抱える女性等への支援は、令和4年に制定された「困難を抱える女性への支援」に関する法律の内容と重なる部分がある。新型コロナウイルスの影響もあり、今後さらに強化が必要となる視点である。

(3) ひとり親世帯の経験・体験の機会創出

令和3年度からは、ひとり親世帯の子どもの経験・体験の機会づくりとして、料理だけでなく、ハロウィンやクリスマスのイベントに合わせた工作等の体験講座を実施している。

【目標Ⅰ～Ⅳ】第7次行動計画全般について

(1) オンラインを活用した周知・啓発活動の継続

新型コロナウイルスの影響で、令和2年度に中止せざるを得なかったイベントや講座について、令和3年度からは、オンラインを活用することで、急な感染拡大時にも柔軟な対応が可能となり、男女共同参画に関する周知・啓発を継続して行うことができた。

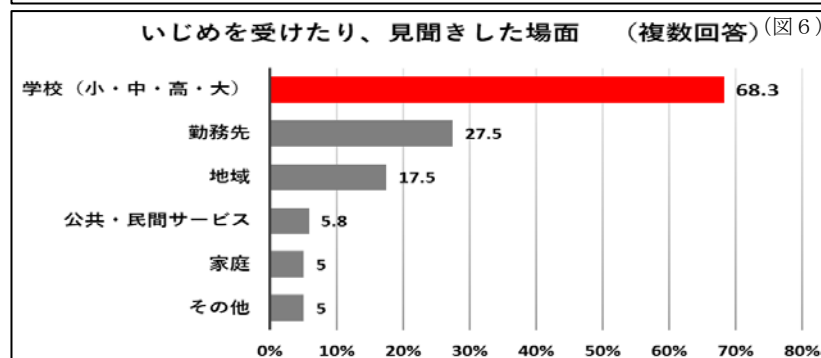
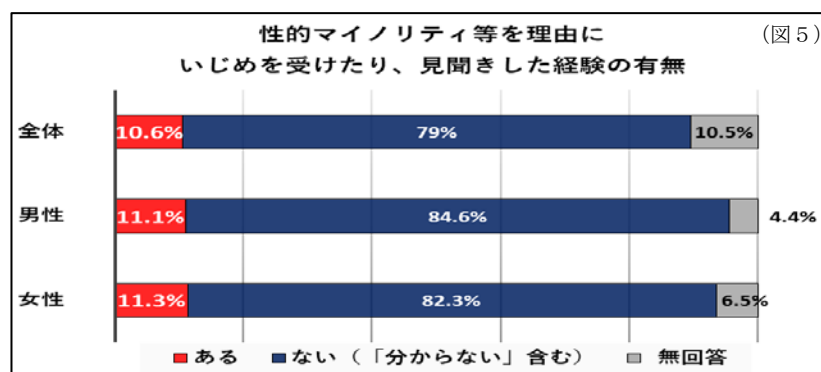
4 第8次行動計画への課題

令和3年度に区が実施した「男女共同参画に関する意識調査」からは「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）」から生じるとと思われる男女間の意識差や、DV被害にあっても相談しない被害者がいること等が実態として見えてきた。これらを課題として、新たな指標の設定や施策に反映をしていくとともに、具体的な方法を探りながら課題の解消に努めていく。

【柱立てⅠ】あらゆる人の人権と性の多様性の尊重

(1) 学校を含む幼少期からの性に関する人権課題の啓発

性的マイノリティ等を理由にいじめを受けたり、見聞きした経験が「ある」と回答した区民のうち（図5）68.3%は「学校が現場である」と回答している（図6）。人権課題の1つとして幼少期から学校現場などでの周知・啓発が必要である。

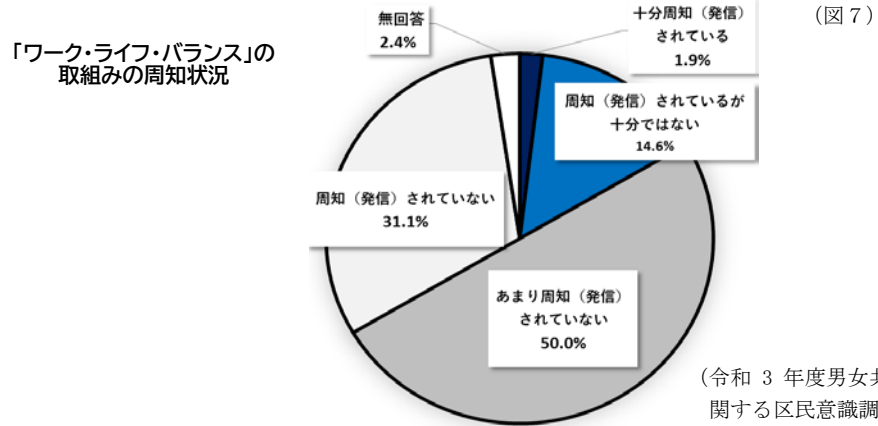


(令和3年度男女共同参画に関する区民意識調査より)

【柱立てⅡ】 様々な分野における女性の参画拡大と活躍推進

(1) 制度の見直し

区のワーク・ライフ・バランス推進の取り組みを知っている区民が2割に満たない(図7)。制度開始から10年を経過したこともあり、働き方に対する社会の考え方や、法改正の内容の反映も含め制度を見直していく必要がある。

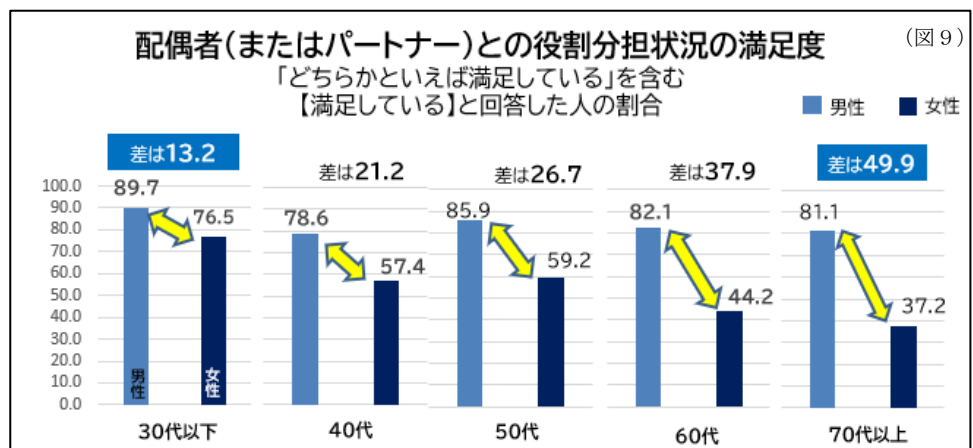
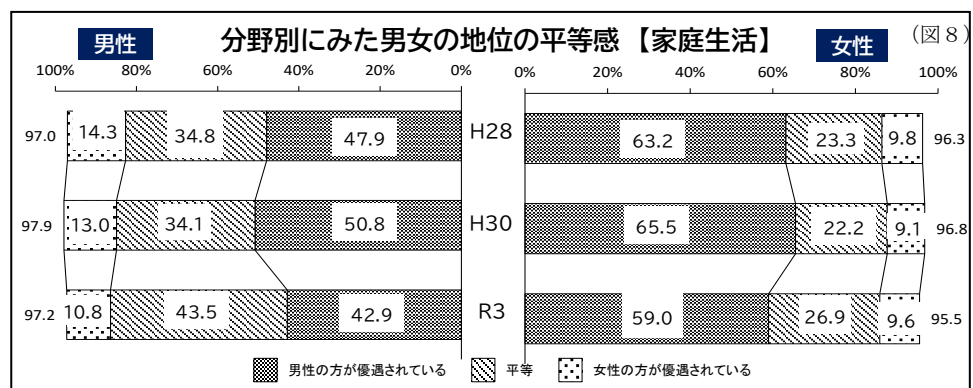


(2) 区民の意識改革(固定的な性別役割分担意識等の解消)

ア 家庭生活における男女の地位の平等感(図8)で平等と回答したのは男性が43.5%、女性が26.9%という結果である。

イ 日常の家事・育児等の役割の満足度(図9)においても、男女間の意識差が見られる。

ウ 上記の一因として考えられる「固定的な性別役割分担意識」「無意識の思い込み」等の「アンコンシャスバイアス」の解消のためには区民の意識改革を進めるための周知・啓発が必要である。



(令和3年度男女共同参画に関する区民意識調査より)

【柱立てⅢ】安心安全な暮らしの実現（DV・虐待の予防と被害者支援）

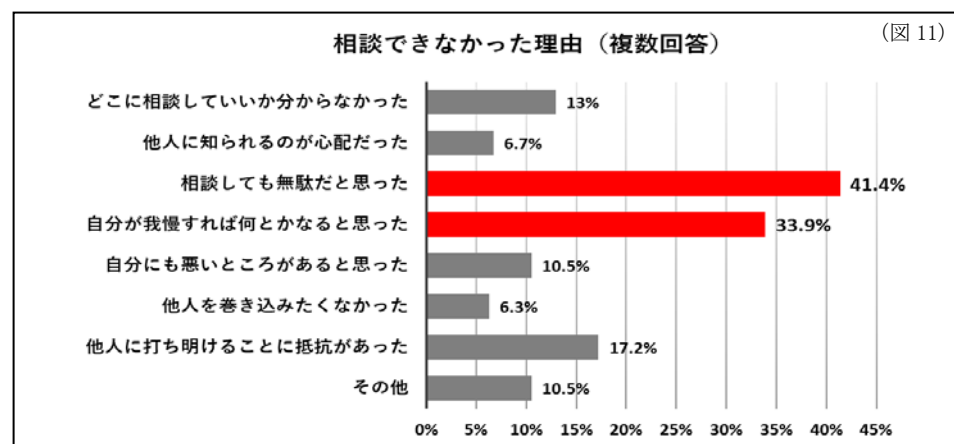
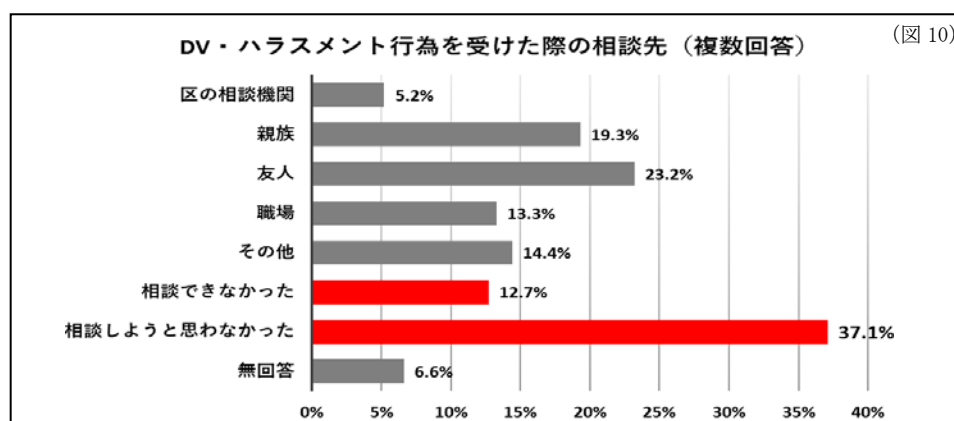
（1）相談につながらない被害者

DV被害経験者のうち「相談できなかった」人の割合は12.7%、「相談しようと思わなかった」人は37.1%で、合計49.8%が相談につながらない（図10）。

（2）相談しない理由

「どこに相談していいかわからなかった」13%の被害者に対しては、相談窓口の周知の強化が必要である。

「相談しても無駄だと思った」「我慢すれば何とかかなと思った」75.3%（図11）の被害者を、どのように相談につなげていくかが今後も課題である。



（令和3年度男女共同参画に関する区民意識調査より）

【柱立てⅣ】男女共同参画の視点における困難を抱える女性等への支援

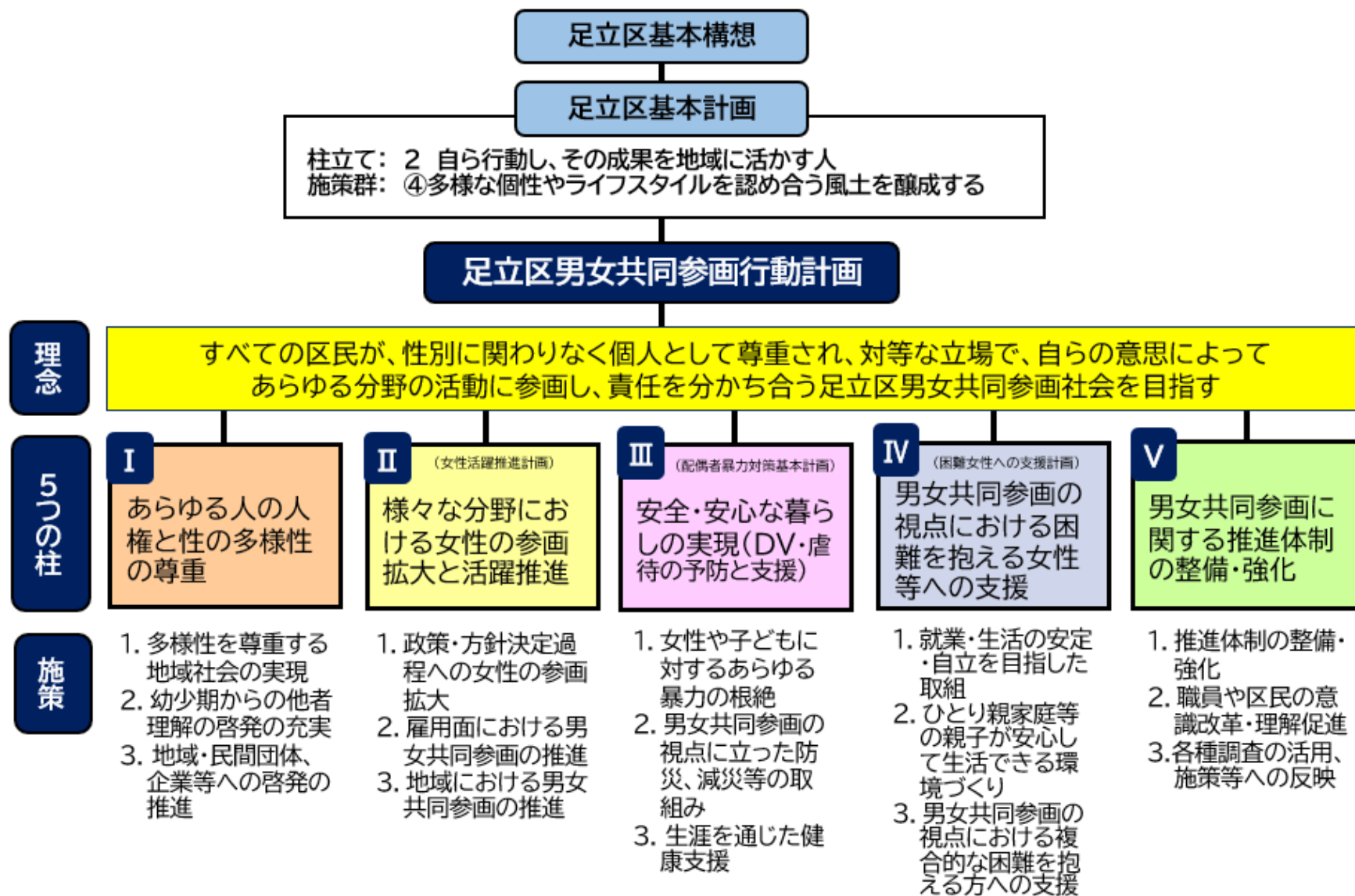
（1）様々な分野の支援

経済社会における性別による格差が背景となり、女性は貧困等、活上の困難に陥りやすいという状況がある。新型コロナウイルスの感染拡大により、さらに困難な状況に置かれている女性に対して、様々な分野、視点で支援が必要である。

（2）ひとり親世帯以外の支援

女性の貧困は、ひとり親だけではなく、不安定な就業を継続せざるを得ない単身女性や高齢女性等、全ての年代の女性に生じ得ることに留意する必要がある。

	<p>【柱立てV】男女共同参画に関する推進体制の整備・強化</p> <p>(1) 職員の意識改革と庁内外との連携 <u>男女共同参画の推進には、職員の意識改革のほか、庁内連携体制の強化や、NPO等の庁外機関との連携が重要である。</u></p> <p>(2) 計画の進行管理 <u>施策の進捗状況を客観的に確認し、計画に反映していくための体制や手法の整備・構築を行う。</u></p> <p>5 策定スケジュール（予定）</p> <table border="0"> <tr> <td>令和4年 6月</td> <td>男女共同参画推進委員会への諮問</td> </tr> <tr> <td>令和4年 11月～</td> <td>男女共同参画推進委員会へ計画案提示・検討</td> </tr> <tr> <td>令和5年 1月</td> <td>区民委員会にて計画骨子案を報告</td> </tr> <tr> <td>令和5年 2月</td> <td>男女共同参画推進委員会から区への答申</td> </tr> <tr> <td>令和5年 3月</td> <td>パブリックコメント実施</td> </tr> <tr> <td>令和5年 4月</td> <td>計画完成</td> </tr> <tr> <td>令和5年 6月</td> <td>区民委員会にて計画の完成報告</td> </tr> </table>	令和4年 6月	男女共同参画推進委員会への諮問	令和4年 11月～	男女共同参画推進委員会へ計画案提示・検討	令和5年 1月	区民委員会にて計画骨子案を報告	令和5年 2月	男女共同参画推進委員会から区への答申	令和5年 3月	パブリックコメント実施	令和5年 4月	計画完成	令和5年 6月	区民委員会にて計画の完成報告
令和4年 6月	男女共同参画推進委員会への諮問														
令和4年 11月～	男女共同参画推進委員会へ計画案提示・検討														
令和5年 1月	区民委員会にて計画骨子案を報告														
令和5年 2月	男女共同参画推進委員会から区への答申														
令和5年 3月	パブリックコメント実施														
令和5年 4月	計画完成														
令和5年 6月	区民委員会にて計画の完成報告														
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>令和3年度に実施した意識調査結果から見えてきた課題や傾向をふまえて計画に反映していく。足立区男女共同参画推進委員会、区議会からご意見をいただきながら、検討を重ねていく。</p>														



区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和5年1月17日

件 名	指定管理者（区内企業）の事業者ヒアリングについて
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課
内 容	<p>1 2月区民委員会における足立区議会からの指摘を受け、指定管理者の新たな担い手として、区内企業を育成していくことについて、区内事業者 にヒアリングを実施したので、次のとおり報告する。</p> <p>1 ヒアリング日時 令和4年12月23日（金）午前10時から正午</p> <p>2 ヒアリング事業者数 2社</p> <p>3 事業者からの主な意見</p> <p>(1) 区内企業の育成について</p> <p>ア 足立区は地域学習センターに区内企業が3社入っているが、他自治体で3社も地元企業が入っているところはない。足立区は進んでいると思う。</p> <p>イ 災害時を考えると地元企業が指定管理を行う方が望ましい。</p> <p>(2) 地域との連携について</p> <p>ア 指定管理の運営は地域との連携も重要であるので、地域との繋がりが ある青年会議所、商工会議所、法人会などに対してアプローチ してみてもどうか。</p> <p>イ 地域貢献という視点では、「できる限り区内在住者を雇用すること」 などが仕様に入っている自治体もある。</p> <p>(3) 新規参入について</p> <p>ア 審査項目に「運営実績」があると新規参入しにくいので、同種施設 でなくても実績に含めるなど実績の幅を広げると良い。</p> <p>イ 募集要項に記載されている審査の配点で「新たな取り組み」と いった項目の配点が高いと参入できる可能性を感じて、エントリー しやすくなる。</p> <p>ウ 募集期間が長い方が新規参入しやすい。</p>

	<p>(4) その他</p> <p>ア 指定管理者の担い手となる企業が少ないので、ノウハウを提供しても良いと考えている。</p> <p>イ 我々も区外に展開しているので、区内の指定管理を取らないといけないということでもない。</p> <p>ウ 指定管理は人材確保が難しいため、人材確保や人材育成に力を入れている。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>青年会議所等への説明や募集要項の見直しなど、区内企業育成に向けた取り組みを検討していく。</p>

区民委員会報告資料

令和5年1月17日

件名	文化遺産調査マンガ本「ビビビ美アダチ」発刊時期の変更について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課
内容	<p>文化遺産調査マンガ本「ビビビ美アダチ」の発刊時期を令和4年度から令和5年度に変更したので、次のとおり報告する。</p> <p>1 発刊時期の変更理由</p> <p>(1) 特別展「琳派の花園 あだち」が好評であったため、文化遺産調査で発見した作品やその背景にある地域史と琳派の関わりを中心に再構成する。</p> <p>(2) 広く区民の方に触れてもらうため、1話ごとのつながり等を意識した構成とする。</p> <p>2 今後のスケジュール</p> <p>(1) 令和4年度</p> <p>ア 原稿案確定</p> <p>(2) 令和5年度</p> <p>ア 書籍製作委託</p> <p>イ 書籍刊行、販売</p>
問題点 今後の方針	<p>1 販売については、区政情報課のほか、郷土博物館仮事務所での郵送などを予定。</p> <p>2 区立図書館及び学校図書館への配架も行い、広く文化遺産調査の成果を発信する。</p>

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和5年1月17日

件 名	区制90周年特別展「琳派の花園 あだち」の開催結果について																																														
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課																																														
内 容	<p>区制90周年特別展「琳派の花園 あだち」の開催結果について、次のとおり報告する。</p> <p>1 概要 区制90周年にあたり、未紹介の作品も含めた琳派の特別展示を行った。</p> <p>2 実施期間・場所 期間：令和4年10月9日（日）から12月11日（日）まで 場所：郷土博物館</p> <p>3 主な結果 (1) 来館者数 ア 開催日数 55日 イ 来館者数 7,117人</p> <table border="1" data-bbox="491 1267 1043 1527"> <thead> <tr> <th></th> <th>来館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有料</td> <td>1,924人</td> </tr> <tr> <td>無料</td> <td>5,071人</td> </tr> <tr> <td>特別展招待券利用</td> <td>122人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,117人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 平均 129人/日</p> <p>(2) 過去の特別展との比較</p> <table border="1" data-bbox="443 1648 1433 2018"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>特別展</th> <th>営業日</th> <th>来館者数</th> <th>平均/日</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>大千住</td> <td>83</td> <td>5,388</td> <td>65</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>初顔見世の役者絵</td> <td>36</td> <td>3,571</td> <td>99</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>名家のかがやき</td> <td>68</td> <td>3,284</td> <td>48</td> <td>コロナ禍</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>谷文晁の末裔</td> <td>57</td> <td>2,710</td> <td>48</td> <td>コロナ禍</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>琳派の花園 あだち</td> <td>55</td> <td>7,117</td> <td>129</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		来館者数	有料	1,924人	無料	5,071人	特別展招待券利用	122人	合計	7,117人	年度	特別展	営業日	来館者数	平均/日	備考	H30	大千住	83	5,388	65		R1	初顔見世の役者絵	36	3,571	99		R2	名家のかがやき	68	3,284	48	コロナ禍	R3	谷文晁の末裔	57	2,710	48	コロナ禍	R4	琳派の花園 あだち	55	7,117	129	
	来館者数																																														
有料	1,924人																																														
無料	5,071人																																														
特別展招待券利用	122人																																														
合計	7,117人																																														
年度	特別展	営業日	来館者数	平均/日	備考																																										
H30	大千住	83	5,388	65																																											
R1	初顔見世の役者絵	36	3,571	99																																											
R2	名家のかがやき	68	3,284	48	コロナ禍																																										
R3	谷文晁の末裔	57	2,710	48	コロナ禍																																										
R4	琳派の花園 あだち	55	7,117	129																																											

(3) ウェブコンテンツアクセス数 [12月11日時点]

内容	アクセス数	平均/日	公開日
特設サイト			
トップページ	15,669回	194回	9月22日
電子展覧会	6,997回	102回	10月4日
360度動画	667回	20回	11月9日
音声ガイド※	3,659回	67回	9月22日
合計	26,992回		

※ 音声ガイドは開館日のみ集計

(4) 学識等専門家コメント

- ア 地域の美術と歴史、文化が一つの流れとして理解、注目出来て良い展覧会と感じて楽しんだ。
- イ 他自治体で、足立の文化遺産調査を先行事例とした調査を開始しようとしている。波及が始まっている。
- ウ 出展作品が優れており、一つの地域からこれだけの作品が見出されることに驚きを覚える。

4 取り上げられたメディア等

(1) 新聞

- ア 読売新聞 (11月6日朝刊)
- イ 朝日新聞 (11月10日朝刊)

(2) テレビ等

- ア J:COM「東京つながるNews」 (10月20日放映)
- イ 東京MX「ぐるり東京 江戸散歩」 (11月5日放映)

(3) ネット記事

- ア PR TIMES (10月6日)
- イ Yahoo! (足立区カテゴリ、11月5日)

(4) 雑誌

- ア 月刊「美術の窓」12月号 (11月18日発行)
- イ 月刊「清流」1月号 (12月1日発行)

(5) ラジオ

- ア NHK「ラジオ深夜便」 (12月4日)

問題点
今後の方針

- 1 大規模改修、常設展示改修のため令和5年1月から令和7年3月まで休館する。令和7年4月からリニューアルオープン予定。
- 2 あだち広報や新聞の影響は大きく、掲載後は多数の問い合わせがあった。リニューアル後に向けて今回の広報戦略を活かしていく。
- 3 今後も文化遺産調査を継続し、作品の発見のみにとどまらず、その背景にある地域史等をひも解いて区民へ周知していく。

区 民 委 員 会 報 告 資 料

令和5年1月17日

件 名	小学生向け電子図書館体験キャンペーンの実施について									
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館									
内 容	<p>令和4年11月から中学生を対象に開始した「電子図書館体験キャンペーン（区制90周年関連事業）」について、次のとおり対象を拡大する。</p> <p>1 目的 子どもたちが一人1台配付のタブレットを活用し、電子図書館を利用することで書籍に触れる機会を提供する。</p> <p>2 新たに対象になる児童・生徒 現・区立小学校4年生から6年生の全児童（約15,000人。令和5年4月時点では小学校5・6年生、中学校1年生）。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>(拡大前)</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>中学校3年生</td></tr> <tr><td>中学校2年生</td></tr> <tr><td>中学校1年生</td></tr> </table> </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">}</div> <div style="text-align: center;"> <p>(拡大後)</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>中学校3年生</td></tr> <tr><td>中学校2年生</td></tr> <tr><td>中学校1年生</td></tr> <tr><td>小学校6年生（4月から中学校1年生）</td></tr> <tr><td>小学校5年生（4月から小学校6年生）</td></tr> <tr><td>小学校4年生（4月から小学校5年生）</td></tr> </table> </div> </div> <p style="margin-left: 100px;">約15,000人</p> <p>3 実施概要</p> <p>(1) 実施方法 「あだち電子図書館」の利用に必要なIDと仮パスワードを配付する。</p> <p>(2) 体験期間 令和5年4月中旬から令和5年9月30日まで（予定） ※ 令和5年10月には図書館システムの改修が予定されており、すべての仮パスワードの有効期限が切れるため。</p> <p>(3) 電子書籍の同時視聴への対応 児童向けの「読み放題パック」（50冊分）を新規に購入して、紹介する。 ※ 中学生には中学生向けの「読み放題パック」（100冊分）を購入済み。</p>	中学校3年生	中学校2年生	中学校1年生	中学校3年生	中学校2年生	中学校1年生	小学校6年生（4月から中学校1年生）	小学校5年生（4月から小学校6年生）	小学校4年生（4月から小学校5年生）
中学校3年生										
中学校2年生										
中学校1年生										
中学校3年生										
中学校2年生										
中学校1年生										
小学校6年生（4月から中学校1年生）										
小学校5年生（4月から小学校6年生）										
小学校4年生（4月から小学校5年生）										

(4) その他

ア 現在実施中の中学生と同様に、今回は特例として、区立図書館の利用登録がなくても電子図書館の利用を認める。

イ 体験キャンペーン終了後も電子図書館を引き続き利用したい場合は、改めて利用登録の手続きが必要となる。

4 体験から登録につなげる取組み

期間中に足立区立図書館の利用登録をした小学生に対して、区立図書館窓口でタッチペンを配付する。

配付数は既にキャンペーン実施中の中学生を含めて先着 5,000 人とする。

5 中学生向けキャンペーンの実績

(1) 実施期間 11月8日(火)から12月7日(水)まで

(2) 対象人数 13,748人(全区立中学生)

(3) ログイン数(累計) 1,178件

(4) 新規貸出冊数(累計) 589冊

(5) 貸出回数上位タイトル

貸出回数	電子書籍名
6回	<ul style="list-style-type: none">うまくなる卓球 電子版 (学研プラス)るるぶ ONE PIECE (JTB パブリッシング)
4回	<ul style="list-style-type: none">チームふたり 電子版 (学研教育出版)とある魔術の禁書目録 SP (KADOKAWA)兄が3人できまして (講談社)
3回	<ul style="list-style-type: none">中1数学が面白いほどわかる本 (KADOKAWA) ほか22冊

6 電子図書館体験キャンペーン全体の目標値

令和4年11月8日から令和5年9月30日までのキャンペーン期間中に、対象児童・生徒による貸出冊数10,000冊を目指す。

問題点
今後の方針

体験期間終了に伴う混乱を避けるため、各小学校には令和5年8月に改めて期間終了の周知を行う。

件 名	足立区孤立ゼロプロジェクト推進活動の実施状況について																																																	
所管部課名	絆づくり担当部絆づくり担当課																																																	
内 容	1 孤立ゼロプロジェクト推進活動実施町会・自治会について【令和4年12月末日現在】																																																	
	<table border="1"> <tr> <th>調査終了町会・自治会数</th> <th>終了率</th> </tr> <tr> <td>2目以降：368団体</td> <td>83.8%</td> </tr> </table>		調査終了町会・自治会数	終了率	2目以降：368団体	83.8%	※ 全町会・自治会で1回目調査終了 100%達成（平成30年3月末）																																											
	調査終了町会・自治会数	終了率																																																
	2目以降：368団体	83.8%																																																
	2 高齢者実態調査実施状況について（累計）【令和4年12月末日現在】																																																	
	調査世帯合計：49,657世帯（60,972人）																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>孤立なし</th> <th>A 孤立のおそれ</th> <th>B 入院・不在等</th> <th>C 不同意</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36,111世帯 (45,125人) 72.8%</td> <td>5,968世帯 (7,444人) 12.0%</td> <td>5,087世帯 (5,392人) 10.2%</td> <td>2,491世帯 (3,011人) 5.0%</td> </tr> </tbody> </table>							孤立なし	A 孤立のおそれ	B 入院・不在等	C 不同意	36,111世帯 (45,125人) 72.8%	5,968世帯 (7,444人) 12.0%	5,087世帯 (5,392人) 10.2%	2,491世帯 (3,011人) 5.0%																																			
	孤立なし	A 孤立のおそれ	B 入院・不在等	C 不同意																																														
	36,111世帯 (45,125人) 72.8%	5,968世帯 (7,444人) 12.0%	5,087世帯 (5,392人) 10.2%	2,491世帯 (3,011人) 5.0%																																														
	【調査世帯数内訳】 70歳以上単身：38,263世帯 75歳以上のみ：11,394世帯																																																	
令和4年度の高齢者実態調査実施状況																																																		
<table border="1"> <tr> <th>調査実施団体</th> <th>調査世帯合計（人数）</th> </tr> <tr> <td>22団体</td> <td>1,353世帯（1,691人）</td> </tr> </table>		調査実施団体	調査世帯合計（人数）	22団体	1,353世帯（1,691人）	※ 調査中の世帯を含む																																												
調査実施団体	調査世帯合計（人数）																																																	
22団体	1,353世帯（1,691人）																																																	
3 調査世帯のその後の対応について【令和4年12月末日現在】																																																		
地域社会や支援につながった方：4,783世帯（累計、下記太枠内） ※ 令和4年4月（前回報告）以降つながった方：153世帯																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">地域包括支援センターにより状況確認中</th> <th rowspan="2">孤立状態ではないと判断</th> <th colspan="4">地域社会や支援につながった</th> <th rowspan="2">小計</th> </tr> <tr> <th>絆のあんしん協力員の訪問</th> <th>地域包括支援センターによる支援</th> <th>介護保険サービス開始</th> <th>地域社会とつながった</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 孤立のおそれ 5,968世帯</td> <td>103世帯 (1.7%)</td> <td>3,565世帯 (59.7%)</td> <td>8世帯 (0.1%)</td> <td>247世帯 (4.1%)</td> <td>1,105世帯 (18.5%)</td> <td>940世帯 (15.8%)</td> <td>2,300世帯</td> </tr> <tr> <td>B 入院・不在等 5,087世帯</td> <td>202世帯 (4.0%)</td> <td>3,405世帯 (66.9%)</td> <td>1世帯 (0.1%)</td> <td>277世帯 (5.4%)</td> <td>562世帯 (11.0%)</td> <td>640世帯 (12.6%)</td> <td>1,480世帯</td> </tr> <tr> <td>C 不同意 2,491世帯</td> <td>66世帯 (2.6%)</td> <td>1,422世帯 (57.1%)</td> <td>2世帯 (0.1%)</td> <td>199世帯 (8.0%)</td> <td>327世帯 (13.1%)</td> <td>475世帯 (19.1%)</td> <td>1,003世帯</td> </tr> <tr> <td>合計 (A+B+C) 13,546世帯</td> <td>371世帯 (2.7%)</td> <td>8,392世帯 (62.0%)</td> <td>11世帯 (0.1%)</td> <td>723世帯 (5.3%)</td> <td>1,994世帯 (14.7%)</td> <td>2,055世帯 (15.2%)</td> <td>4,783世帯</td> </tr> </tbody> </table>								地域包括支援センターにより状況確認中	孤立状態ではないと判断	地域社会や支援につながった				小計	絆のあんしん協力員の訪問	地域包括支援センターによる支援	介護保険サービス開始	地域社会とつながった	A 孤立のおそれ 5,968世帯	103世帯 (1.7%)	3,565世帯 (59.7%)	8世帯 (0.1%)	247世帯 (4.1%)	1,105世帯 (18.5%)	940世帯 (15.8%)	2,300世帯	B 入院・不在等 5,087世帯	202世帯 (4.0%)	3,405世帯 (66.9%)	1世帯 (0.1%)	277世帯 (5.4%)	562世帯 (11.0%)	640世帯 (12.6%)	1,480世帯	C 不同意 2,491世帯	66世帯 (2.6%)	1,422世帯 (57.1%)	2世帯 (0.1%)	199世帯 (8.0%)	327世帯 (13.1%)	475世帯 (19.1%)	1,003世帯	合計 (A+B+C) 13,546世帯	371世帯 (2.7%)	8,392世帯 (62.0%)	11世帯 (0.1%)	723世帯 (5.3%)	1,994世帯 (14.7%)	2,055世帯 (15.2%)	4,783世帯
	地域包括支援センターにより状況確認中	孤立状態ではないと判断	地域社会や支援につながった							小計																																								
			絆のあんしん協力員の訪問	地域包括支援センターによる支援	介護保険サービス開始	地域社会とつながった																																												
A 孤立のおそれ 5,968世帯	103世帯 (1.7%)	3,565世帯 (59.7%)	8世帯 (0.1%)	247世帯 (4.1%)	1,105世帯 (18.5%)	940世帯 (15.8%)	2,300世帯																																											
B 入院・不在等 5,087世帯	202世帯 (4.0%)	3,405世帯 (66.9%)	1世帯 (0.1%)	277世帯 (5.4%)	562世帯 (11.0%)	640世帯 (12.6%)	1,480世帯																																											
C 不同意 2,491世帯	66世帯 (2.6%)	1,422世帯 (57.1%)	2世帯 (0.1%)	199世帯 (8.0%)	327世帯 (13.1%)	475世帯 (19.1%)	1,003世帯																																											
合計 (A+B+C) 13,546世帯	371世帯 (2.7%)	8,392世帯 (62.0%)	11世帯 (0.1%)	723世帯 (5.3%)	1,994世帯 (14.7%)	2,055世帯 (15.2%)	4,783世帯																																											
※ 調査後の転出・死亡等5,703世帯含む																																																		

4 「わがまちの孤立ゼロプロジェクト」について

日常的に見守りや声かけを行う町会・自治会等に、区が見守り応援グッズを提供し、自主的な見守り活動を支援している。見守り活動には、戸別訪問、集会所や会館を使った居場所づくりなどがある。

(1) 実施団体数【令和4年12月末日現在】

実施団体	① 集合住宅のみの町会・自治会	② ①以外の町会・自治会	マンション管理組合
105 団体	56 団体	47 団体	2 団体

※ 令和4年4月（前回報告）以降 新規実施：9団体 辞退：0団体

(2) 実施内容

声かけ訪問		居場所づくり	
戸別訪問（行事参加促進など）	55	カラオケ	14
敬老祝い訪問	53	脳トレや簡単な体操	7
清掃活動	23	お茶飲み会	9
ラジオ体操	8	グランドゴルフ	5
避難訓練	2	認知症カフェ	2
その他 （行事欠席者への訪問など）	9	その他サロン活動	20

※ 数字は団体数（重複あり）

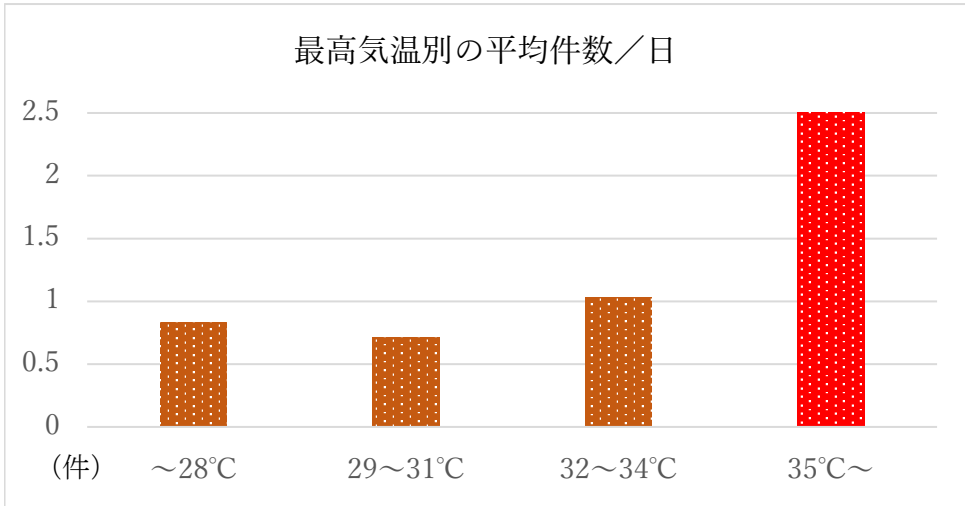
5 令和4年度の孤立ゼロプロジェクトの取組みについて

- (1) 町会・自治会による高齢者実態調査を22団体（調査対象1,353世帯）で実施。
- (2) 各地域包括支援センター（25か所）で絆のあんしんネットワーク連絡会を実施。
- (3) 絆のあんしんネットワーク合同研修会を令和4年10月31日に実施。
- (4) 絆のあんしんネットワークづくりに貢献した絆のあんしん協力員58名・絆のあんしん協力機関12団体に対し、令和4年11月16日のビューティフル・パートナー感謝状贈呈式時に感謝状を贈呈。

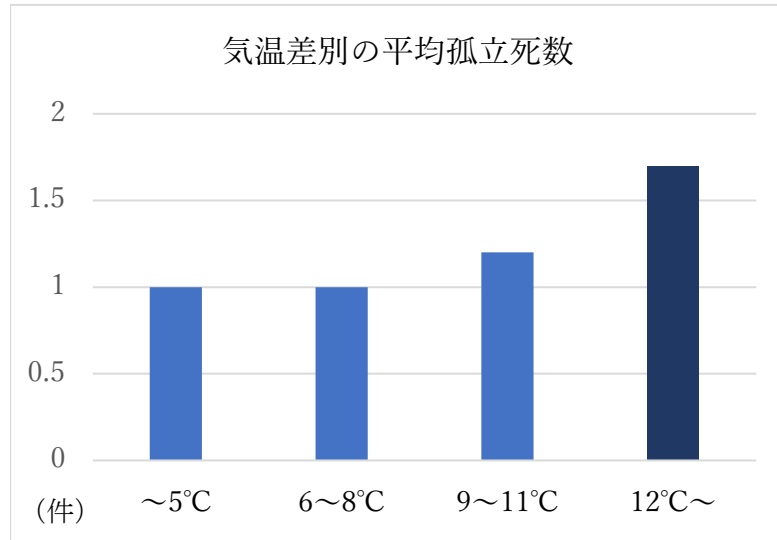
問題点
今後の方針

高齢者実態調査を再開した町会・自治会もあるが、いまだ通常の活動ができていない関係団体もある。各団体の現状の把握に引き続き努めるとともに、町会・自治会連合会や民生委員協議会の会議などで丁寧に事業への協力依頼を行っていく。

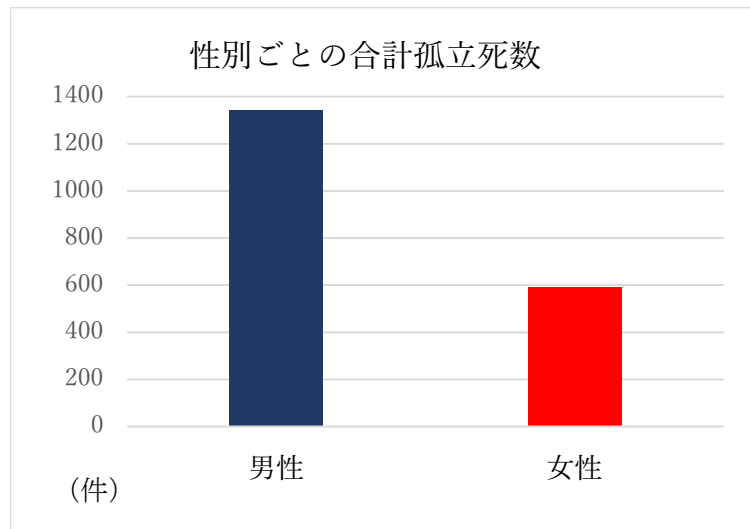
令和5年1月17日

件 名	足立区における高齢者の孤立死の現状について																												
所管部課名	絆づくり担当部絆づくり担当課																												
内 容	<p>東京都監察医務院から提供があった令和3年の高齢者孤立死データ（平成28年～令和3年）を、別添資料1「足立区の高齢者孤立死データ分析結果」のとおりまとめたので報告する。</p> <p>なお、孤立死の定義は「<u>単身者が自宅で死亡した場合</u>」とする。</p> <p>1 集計結果の主な概要</p> <p>(1) 令和3年の高齢者孤立死数は314人で前年より70人（18%）減少</p> <table border="1" data-bbox="502 929 1305 1332"> <thead> <tr> <th></th> <th>孤立死数 (人)</th> <th>高齢者人口 (人)</th> <th>孤立死増加率 (対前年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年</td> <td>282</td> <td>165,910</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成29年</td> <td>270</td> <td>168,323</td> <td>-3.6%</td> </tr> <tr> <td>平成30年</td> <td>336</td> <td>169,994</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>令和元年</td> <td>349</td> <td>170,890</td> <td>3.6%</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>384</td> <td>171,378</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>314</td> <td>171,715</td> <td>-18.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 夏季の最高気温が35℃以上で孤立死リスクは2.8倍</p> 		孤立死数 (人)	高齢者人口 (人)	孤立死増加率 (対前年)	平成28年	282	165,910		平成29年	270	168,323	-3.6%	平成30年	336	169,994	24.4%	令和元年	349	170,890	3.6%	令和2年	384	171,378	6.6%	令和3年	314	171,715	-18.2%
	孤立死数 (人)	高齢者人口 (人)	孤立死増加率 (対前年)																										
平成28年	282	165,910																											
平成29年	270	168,323	-3.6%																										
平成30年	336	169,994	24.4%																										
令和元年	349	170,890	3.6%																										
令和2年	384	171,378	6.6%																										
令和3年	314	171,715	-18.2%																										

(3) 冬季の最高気温と最低気温の差が12℃以上で孤立死リスクは1.5倍



(4) 性別では男性の孤立死リスクは女性の2.3倍



※ 平成28年から令和3年の合計数

問題点
今後の方針

- 1 町会・自治会長会議や民生委員協議会、絆のあんしんネットワーク連絡会等で関係者に周知を図っていく。
- 2 関係所管と情報共有を進め、より効果的な孤立死対策について検討を進めるとともに、地域の見守りの目を増やすために、絆のあんしん協力員などの登録を促進していく。